

低コストな土壤汚染調査・対策技術の開発に係る環境省の取り組みについて

環境省では、低コストな土壤汚染調査・対策技術の実用化、普及を促進するため、毎年度、「低コスト・低負荷型土壤汚染調査対策技術検討調査」を実施している。調査内容は、実用段階にある低コスト・低負荷型の土壤汚染調査・対策技術を民間から広く公募し、選定された技術について実証試験を実施し、学識経験者からなる検討会で技術評価を行うものである。

本調査は、平成14年度より実施しており、平成19年度までに35件の技術について評価を行い、環境省ホームページで結果の概要を公表している。

<参考> 平成19年度における対象技術

技術の名称	技術の区分	
脱酸素スパージング工法による揮発性有機塩素化合物の原位置バイオレメディエーション技術	対策	スパージング +微生物分解
重金属汚染土壤の簡易酸抽出処理法	対策	化学分離
回収熱源を利用したダイオキシン類の直接加熱分離+熱分解法	対策	加熱分離+熱分解
超小型重金属分析「Geo-REX」による土壤中重金属測定	調査	電気化学分析
水銀フリー・ストリッピング・ボルタンメトリー法	調査	電気化学分析
汚染重金属成分自動均質化機構つきオンサイト蛍光X線分析システム	調査	蛍光X線分析